香川県高松市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体）

区分	令和元年度～令和６年度	令和７年度	計	令和７年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	170,779,738	45,754,046	216,533,784	５７％	高松市産材木材の普及・促進に利用
譲与額（円）	309,025,000	73,333,000	382,358,000		

■令和７年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち森林環境譲与税	
森林整備	私有林整備	26,060,041	26,060,041	間伐、竹林伐採等森林環境保全整備事業及び造林事業に対し、林業事業体への補助を行う。
人材育成	林業就業者の育成・専門員の雇用	16,089,055	16,089,055	かがわ森林整備担い手対策協議会への負担金の拠出及び専門員の雇用。
木材利用	森林・林業の意義や木材利用促進に関する普及活動等	718,000	718,000	木材普及活動の実施団体に補助を行い、木材普及のＰＲイベント等を開催し普及活動を行う。
森林整備	林道・林業専用道の整備・維持修繕	5,657,300	2,886,950	既存の林道及び森林作業道の維持管理工事等を行う。（R6年度繰り越し分）
基金積立		31,294,787	30,465,904	高松市森林環境譲与税積立基金
合計		79,819,183	76,219,950	

■今後の実施計画

【①高松市産木材の普及・促進】



令和７年度は、市内産木材を利用した木製玩具の補助事業で、市内の民間の保育施設等４つの保育施設へ木製玩具を導入することができた。令和８年度からは補助対象を木製玩具だけでなく、木製家具まで拡大し、補助事業を行う。

【②森林整備のための森林所有者への意向調査】

森林所有者への意向調査を事業所へ委託し、意向調査の発送後に、未回答の所有者に再送付したり、回答内容の不明点を電話確認や戸別訪問を行うことにより、令和６年度も令和７年度も回答率７５％まで回答率を高めることができたため、森林整備の貴重な資料として、今後も引き続き行う。